

# 【新規】水辺利活用整備計画の策定

～魅力的な水辺空間の創出に向けて～

## ◇ 事業目的

区では現在、水辺空間を活用した多くの施策を展開しており、また、民間においても様々な取り組みが実施されている。

今後、にぎわいや回遊性をさらに高め、魅力的でうらおいや親水性のある水辺空間を創出していくために、水辺のあり方や将来像、整備方針などを定めた水辺利活用整備計画を策定する。

## ◇ 事業内容

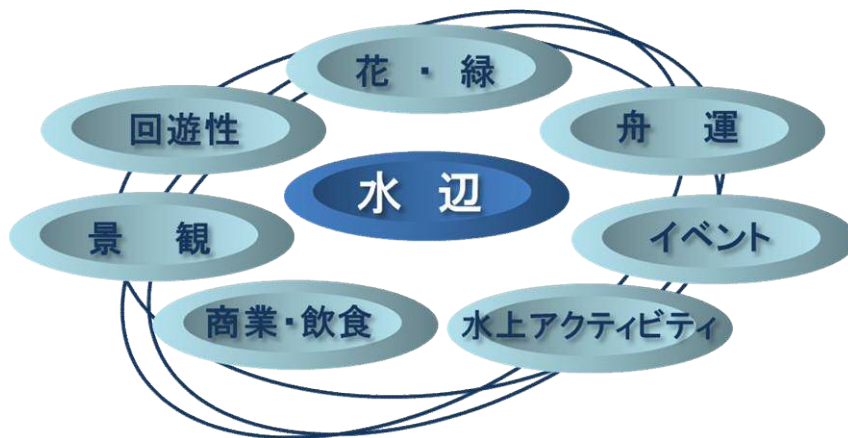
現状や課題の整理とともに地域の意見も踏まえながら検討を進め、各地域での水辺の整備方針や重点整備地域の選定、将来像などを取りまとめた水辺利活用整備計画を策定する。

### 【策定・公表】

2020年3月頃

### 【意見の反映】

検討過程において、事業者やまちづくり協議会など様々な地域、活動団体で構成される品川区観光振興協議会の水辺活用部会により意見を反映



## ◇ 事業予算

9,982千円

問い合わせ：都市環境部 都市計画課長 電話 03-5742-6757

# 体験型環境学習施設の整備 ～“みんなで創る環境都市 しながわ”を目指して～

## ◇事業目的

地球規模の温暖化を背景に、国内では環境に対する学びへの需要が高まっている。未来をつくる担い手である子どもたちと、子どもを支える人たちをターゲットに、「みんなで創る環境都市 しながわ」の実現を目指し、環境を体感して学べる施設を戸越公園（豊町2-1）内に設置する。2018年度に実施した施設のコンセプト検討を踏まえ、2019年度より建物および展示設計を行うとともにスムーズな開館に向けた準備を進める。

## ◇事業内容

施設のキャッチコピーとして「つなぐ つづける つくりだす ～エコなミライへ～」を掲げ、環境意識の啓発と積極的な情報発信を図る。

1. 建物規模 地上3階建て 延床面積 約1,800㎡

### 2. 施設の機能

(1) [体験学習][情報発信][交流・連携]を施設の機能とし、以下の事業を展開する。

#### ① 学びの機会をつくりだす

- ・体感型展示や立地を生かした講座など、楽しく興味を引く学びを提供
- ・最新の環境情報をタイムリーに発信
- ・学校や企業など様々な主体との連携や、ボランティアの育成・交流の拠点

#### ② 学んだことを家庭でつづける

- ・施設での体験を家庭などに持ち帰り、実践できる仕組みの提供

#### ③ にぎわいをつなぐ

- ・公園との連携により、公園利用者も気軽に利用できる魅力あるスペースと、人々のにぎわいをつなぐ場の提供

(2) 消費エネルギーを最小限に抑えるとともにエネルギーをつくりだすことで、実質の使用エネルギー量を限りなく削減し、環境に配慮した施設とする。

3. スケジュール (1)2019年度～ プロポーザル、設計

(2)2020年度～ 工事

(3)2022年春 オープン

## ◇事業予算

34,746千円

(内訳)

基本設計・実施設計委託（建物） 20,371千円

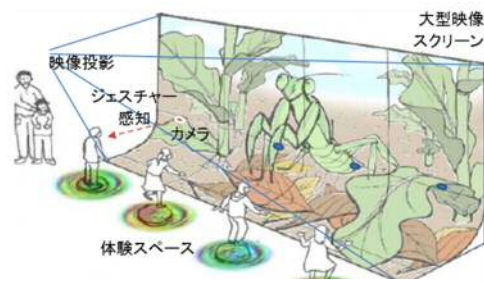
基本設計・実施設計委託（展示） 8,352千円

開設準備委託 2,852千円

地域建材利用検討調査業務委託等 3,171千円



▲外観イメージ(素案)



▲体験型展示(大型映像コンテンツ)の例

問い合わせ：都市環境部 環境課長 電話 03-5742-6748

# 空き家等対策の強化

## ◇事業目的

区では、これまで空き家等の「適正管理の促進」と「有効活用の推進」に取り組んできた。これに加えて、(仮称)「品川区空き家等対策計画」(平成30年度策定予定)に基づき、空き家になる前の対策として、「発生予防」を事業の新たな柱として加え、空き家等対策事業を強化していく。

## ◇事業内容

### 1. 発生予防の推進【新規】

空き家化予防啓発のためのセミナーの開催や冊子の作成・配布等により空き家の所有者やその子世帯に対して、空き家とならないための相続や活用に関する知識の習得や意識の向上を促し、空き家の発生予防を推進する。

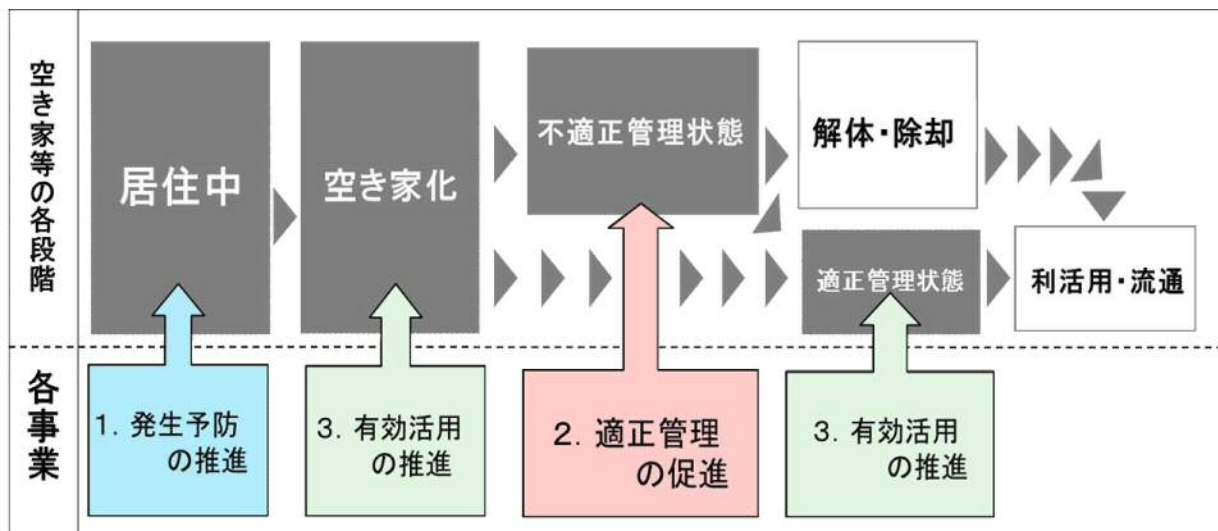
### 2. 適正管理の促進【拡充】

空き家の総合相談窓口である「空き家ホットライン」を、相談から利活用のためのサポートに至るまでワンストップで受付が可能となるように機能の充実を図る。

### 3. 有効活用の推進【継続】

空き家関係団体等との情報交換のため空き家情報交換会の開催や、空き家改修助成を行い、空き家等の有効活用を推進する。

◇事業予算 20,831千円



問い合わせ：都市環境部 住宅課長 電話 03-5742-6775

# シェアサイクルの利用拡大 ～災害時や区職員の日常業務に活用～

## ◇事業目的

東京 2020 大会時の新たな交通手段、低炭素化、観光スポットへのアクセス性向上等を目的として、2017 年 10 月に開始したシェアサイクルの社会実験を拡大実施する。また、2019 年 4 月より、区職員の日常業務の移動手段としても活用していく。

## ◇事業内容

都内 10 区（品川区・千代田区・中央区・港区・新宿区・文京区・江東区・目黒区・大田区・渋谷区）で実施するシェアサイクルの広域相互利用に参加しており、品川区内に 19 ポート 200 台を増設する。

1. 実施方法                      品川区(事業主体)と㈱ドコモ・バイクシェア(運営主体)が協働で事業を行う。
2. 対象エリア                    区内全域
3. スケジュール                2019 年 3 月末                51 ポート 500 台 (延べ台数) 設置  
2019 年 4 月                法人定額会員として区職員が利用開始 (15 台)  
2020 年 3 月まで            19 ポート 200 台増設  
   ※計 70 ポート 700 台 (延べ台数) 設置
4. その他                        災害時の初動および復旧活動の効率化を図るため、シェアサイクルの貸出を行える専用 IC カードを使用し、応急活動等に係る区職員の緊急移動手段としても活用。(2018 年 9 月、運営主体の㈱ドコモ・バイクシェアと協定締結)

◇事業予算                        53,849 千円



サイクルポート  
(大井三ツ又商店街入口)



ICカード(見本)



広域相互利用

## 問い合わせ：

(シェアサイクル全般) 防災まちづくり部 土木管理課長  
(区職員による活用について) 総務部 経理課長  
(災害時の活用について) 防災まちづくり部 防災課長

電話 03-5742-6781  
電話 03-5742-6636  
電話 03-5742-6694

## 【新規】区民交通傷害保険の開始！

### ◇事業目的

昭和 43 (1968) 年に、特別区交通災害共済(23 区共同事業) が実施されたが、平成 14 (2002) 年 3 月末で事業廃止となった。品川区においては近年、自転車の賠償事故および自転車事故に対する区民の関心が高まっていることから、品川区区民交通傷害保険を実施し、区民に対し保険への意識啓発・加入促進を図る。

### ◇事業内容

品川区が保険者となり、指定保険会社との契約を締結し、区民に安価で保険加入できる仕組みを構築する。

リーフレットを作成・配布し、また、区広報媒体を活用し、区民の加入促進を図る。

加入者要件：区内在住・在勤・在学者

申込み先：区内金融機関

申込期間：5月7日(火)から6月21日(金)まで

保険期間：7月1日から1年間

年間保険料・保険金額			
コース	年間保険料	最高保険金額	
		交通傷害	自転車賠償
A	1,000円	150万円	なし
B	1,700円	350万円	なし
C	2,900円	600万円	なし
AJ	1,400円	150万円	1億円
BJ	2,100円	350万円	1億円
CJ	3,300円	600万円	1億円

※AJ・BJ・CJについては自転車賠償付プラン

### ◇事業予算

1, 1 2 8 千円	
(内訳)	
啓発用経費	454 千円
事務費	674 千円

問い合わせ：防災まちづくり部 交通安全担当課長 電話 03-5742-6588

# 【新規】「しながわ せいそう きれいにする象」<sup>ぞう</sup>による啓発活動の促進

## ◇事業目的

日々のごみ収集や資源回収において、分別されていないままの排出や収集日および収集時間以外の排出等が見受けられる。また、家電品や大型家具等の粗大ごみが不法に投棄される現状がある。

その状況を改善するため、ごみ・資源の適正な分別やごみ出しマナーの向上を図り、だれもが住みやすい快適な生活環境の実現を目指す。

## ◇事業内容

区内をくまなく巡回して、排出マナー向上の呼びかけや、排出状況を調査して指導を行う「しながわ せいそう きれいにする象」を結成する。

掃除機や吸引器を連想させる長い鼻を持つ象がネーミングの由来。象をモチーフにしたイラストを作成し、区民から親しまれるよう活動にあたる。

1. ラッピングカーや専用のユニホームを着用した職員によるパトロール活動
2. 戸別訪問やチラシのポスティング等による広報、啓発活動
3. 不適正な排出による調査指導

## ◇事業予算

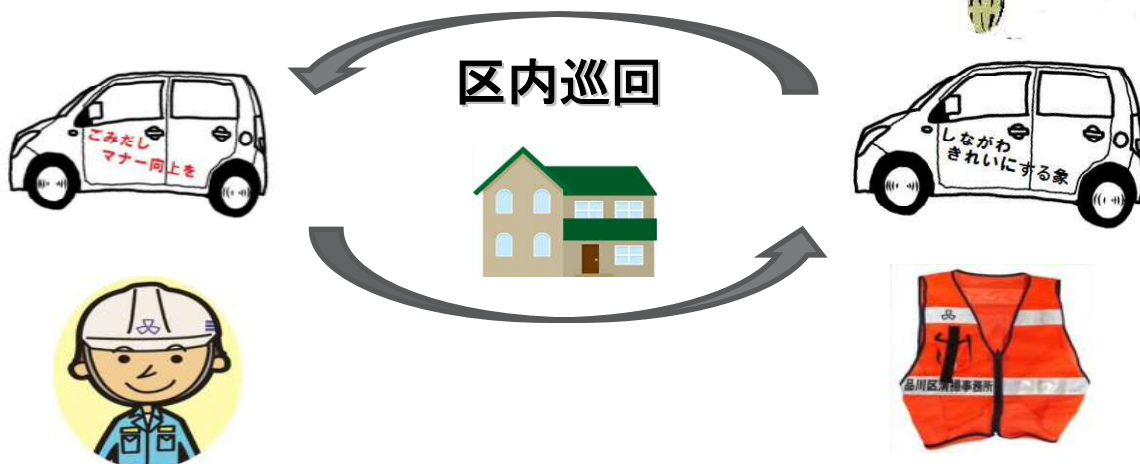
3,341千円

(内訳)

カーラッピング等経費	1,558千円
啓発ユニホーム等経費	1,783千円



イラスト（イメージ）



問い合わせ：都市環境部 品川区清掃事務所長 電話 03-3490-7101

## 【新規】AI(人工知能)を活用した新道路点検システムの導入

### ◇事業目的

現在、区では路面の損傷等を点検するため、道路パトロールを日常的に行っている。点検員による目視点検を基本としているが、より効率的かつ効果的な点検とするため、2017年度にスマートフォンを活用した点検システムを導入。路面の段差等をデータ化し、人的なパトロール業務の補完を図っている。

今回はこのシステムに加え、新たに路面のひび割れ等を検知するシステムを導入。生活道路における路面損傷の原因となる、路面に発生したひび割れについて定期的に状況をチェックすることで、更なるパトロール業務の効率化を図る。

これまでの路面段差データとひび割れデータを合わせて評価することで、道路舗装の予防保全を目指す。

### ◇事業内容

道路パトロール車両に搭載する車載カメラの画像データをAI(Artificial Intelligence:人工知能)で解析し、ひび割れの状況を把握することで、路面の損傷等につながるひび割れの発生箇所をリアルタイムに検知。その発生箇所を地図上に表示するシステムを導入することで、損傷の未然防止と現地対応の迅速化を図る。



### ◇事業予算

4,634千円

(内訳)

新道路点検システム利用委託(画像AI解析等)	2,871千円
路面段差検知・道路情報管理システム利用料	1,763千円

問い合わせ：防災まちづくり部 道路課長 電話 03-5742-6788

## 【新規】コミュニティバス導入検討

### ◇事業目的

区内の公共交通は、鉄道が 14 路線 40 駅、バス路線についても 65 系統と利便性の高い環境にある。一方で道路が狭く民間バス路線となっていないためバス停から遠い地域もある。

今後整備が予定されている都市計画道路を含めた将来の道路ネットワークの整備を見据えながら、民間の公共交通網を補完し、更なる地域交通の利便性向上に向けコミュニティバスの導入を検討する。

### ◇事業内容

既存のバス路線網との重複や財政負担の在り方など課題を整理しながら運行ルートや事業スキームなどについて具体的な検討を開始する。検討にあたっては、地域交通検討会を開催し、意見を踏まえながら実施していく。

<スケジュール>

2019 年度 導入検討

2020 年度 実施計画

2021 年度 運行準備・運行予定

### ◇事業予算

11,468 千円

(内訳)

コミュニティバス導入検討委託費 11,000 千円

地域交通検討会運営経費等 468 千円



問い合わせ：都市環境部 都市計画課長 電話 03-5742-6757



## 【新規】品川区長期基本計画の策定

### ◇事業目的

区は2008年、「品川区基本構想」を策定し、「輝く笑顔 住み続けたいまち しながわ」を区が目指す将来像として掲げ、その実現に向け2009年に「品川区長期基本計画」を策定し、2014年に中間見直しを行った。

この10年間で、社会経済状況や人口構造をはじめ、区民のライフスタイルや価値観など区政を取り巻く環境は大きく変化してきている。区は、そうした変化に対応するとともに、区政をさらに一歩前へ進めるため、区が目指すべき方向を示す新たな長期基本計画を策定する。

### ◇事業内容

#### 1. 計画策定作業

学識経験者や公募区民、区内団体関係者、区議会議員などで構成する策定委員会で審議を行うとともに、パブリックコメントなどを通じて、幅広い意見を計画に反映させる。

#### 2. 計画策定スケジュール

策定委員会	1月～12月	※全9回（2019年度：7回開催）
	10月	パブリックコメントの実施
	12月	素案答申

### ◇事業予算

47,955千円	
(内訳)	
会議運営経費	6,247千円
計画書等製作経費	11,798千円
業務支援委託経費	23,426千円
広報しながわ特集号発行経費	6,484千円

問い合わせ：企画部 計画担当課長 電話 03-5742-6608

## ふるさと納税で区の魅力を発信

～お礼の品 シナモロールぬいぐるみに品川区限定！新デザインを追加～

### ◇事業目的

品川区へふるさと納税を行った方に、しながわ観光大使シナモロールを通じて品川区へ関心・興味を持ってもらうことにより、「住み続けたいまち品川」の魅力を広くPRする。

### ◇事業内容

品川区は2017年2月、シナモロールを「しながわ観光大使」に任命し、以後、シナモロールと連携した様々な事業を実施し、区の魅力を発信している。

2019年度も品川区の魅力を広くPRするため、現在の「2018バージョン」デザインに加え、新たなデザインのシナモロールのぬいぐるみをお礼の品として制作する。

1. **デザイン** 品川区オリジナル「東京2020オリンピック区内開催競技応援バージョン」
2. **対象者** 2019年に3万円以上のふるさと納税寄附のあった方
3. **制作個数** 限定200個

◇事業予算 1,400千円

(参考) 現在のお礼の品 2018バージョンのぬいぐるみ (限定200個)  
大きさ 縦17cm ×横27.5cm ×幅10cm



©2001, 2019 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. G593866

問い合わせ：

(ふるさと納税について) 総務部 税務課長

電話 03-5742-6661

(シナモロールについて) 文化スポーツ振興部 文化観光課長

電話 03-5742-6834

# 【新規】非核平和都市品川宣言の精神をさらにアピール ～多世代に広める平和の想い～

## ◇事業目的

「非核平和都市品川宣言」35周年にあたり、宣言の趣旨である核兵器廃絶と恒久平和確立の精神を区民に広く普及させるため、記念事業を行う。「多世代に広める平和の想い」をテーマにパネルディスカッション、映画上映等の記念式典の開催、しながわ平和の花壇の拡充、非核平和パネル展の拡大実施を行い、幅広い世代へ非核平和都市品川宣言の普及を図る。

## ◇事業内容

### 1. 非核平和都市品川宣言 35周年記念事業

- (1) 日時 2020年3月28日(土)
- (2) 会場 スクエア荏原(荏原4-5-28)
- (3) 内容 ①平和の祭典であるオリンピック・パラリンピックの開催年を機に、非核平和に造詣あるファシリテーターとパネリスト(しながわ2020スポーツ大使、広島・長崎出身のオリンピック等)によるパネルディスカッション  
②幅広い世代向けの平和をテーマとした映画上映  
③広島・長崎への平和使節派遣事業に参加した中学生や青少年による報告会

### 2. しながわ平和の花壇【拡充】

- (1) 対象 JR大井町駅前・西大井駅前・五反田文化センターのしながわ平和の花壇
- (2) 内容 平和を象徴する花「カンナ」に加えて、平和等に関する花(コスモス、パンジー等)を植栽する。四季折々に咲く花をとおして、非核平和の想いを多世代の区民に広く訴える。また、区が主催する事業にてコスモス等の花の種子を配布し、平和の想いをさらに広める。

### 3. 非核平和パネル展

- (1) 期間 2020年3月2日～30日
- (2) 場所 区役所、東急目黒駅、アトレ大井町、大井競馬場等
- (3) 内容 区および広島・長崎市等の所有する被爆関連の写真・資料、平和使節派遣生の発表資料を、例年より規模を拡大し展示する。また、オリンピック・パラリンピックに関連したパネルもあわせて展示する。

## ◇事業予算

5,179千円

(内訳)	非核平和都市品川宣言 35周年記念事業	1,328千円
	しながわ平和の花壇	2,188千円
	非核平和パネル展	1,663千円

問い合わせ：総務部 総務課長 電話 03-5742-6623